

FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

X-T3

New Features Guide

Version 5.00









本製品はファームウェアの更新による機能の追加／変更のため、付属の使用説明書の記載と一部機能が異なる場合があります。詳しくは下記ホームページから各機種ของファームウェア更新情報をご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/>

変更項目

X-T3 Version 5.00 では以下の機能が追加または変更されています。
最新の使用説明書は、下記ホームページをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/ja/manual/>

No.	概要	X-T3 	詳細 	Ver.
1	ホワイトバランスで色温度を設定したときに、色温度の値も表示する仕様に変更されました。	10、12	1、2	2.00
2	縦位置バッテリーグリップ VG-XT3 の AC パワーアダプター AC-9VS や USB ケーブルから給電しているときは、給電中のアイコンが表示されます。	10、12	1、2	2.00
3	タッチズームに対応したレンズを使用しているときにタッチズームができるようになりました。これにともない、セットアップメニューの  操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 にタッチズームが追加されました。	24、 211	3、 23	4.40
4	フォーカスモードを C (AF-C) に設定して動画を撮影しているときは、シャッターボタンを半押し、または AF-ON が割り当てられているボタンを押すと、再度ピントを合わせることができるようになりました。	54	4	4.00
5	AE ロック中にフォーカスポイントを変更できるようになりました。	82	5	4.00
6	撮影メニューの  フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定 の内容が変更されました。	121	6	3.00
7	撮影メニューの  フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定 の性能が向上しました。	121	6、 20	4.00
8	撮影メニューの  フォーカス設定 > レリーズ優先 / フォーカス優先 > AF-S モード時の優先の工場出荷時の設定値がレリーズからフォーカスに変更されました。	125	8	4.00
9	撮影メニューの  フォーカス設定 に フォーカスリミッター が追加されました。	125	8	4.00
10	撮影メニューの  撮影設定 > フリッカー低減 の内容が変更されました。	136	9	3.00

No.	概要	X-T3 📖	詳細 📖	Ver.
11	撮影メニューの 🎬 動画設定 > F-Log 撮影 が F-Log/HLG 撮影 に変更されました。	149	10	2.00
12	お気に入りの設定方法が変更になりました。これにともない情報表示切り替えの内容が変更になり、再生メニューに レーティング が追加されました。	160、 161、 175	11、 12、 13	4.00
13	ファイルサイズが4GBを超える動画を撮影した場合でも1つの動画ファイルとして記録される仕様に変更されました。	176、 260、 302	14	2.10
14	セットアップメニューの 🔧 基本設定 に 🏠 エリア設定 が追加されました。これにともない、初期設定の方法や 世界時計 の設定方法が変更されました。また、 日時設定 で24時間表示が選べるようになりました。	187	15	5.00
15	セットアップメニューの 🔧 基本設定 > リセット の内容が変更されました。	189	16	5.00
16	セットアップメニューの 🔧 接続設定 > Bluetooth 設定 が Bluetooth/スマートフォン設定 に変更され、 電源 OFF 中の画像転送 が追加されました。また、 撮影後 自動画像転送 が 撮影時 自動画像転送 に、 スマートフォン同期設定 が スマートフォン位置情報同期 にそれぞれ変更されました。	216	24	5.00
17	画像を転送するタイミングが変更されました。再生時やカメラの電源をオフにしたときだけでなく、撮影時にも画像を転送できるようになりました。	216	24	5.00
18	セットアップメニューの 🔧 接続設定 > 共通設定 の内容が移動しました。 <ul style="list-style-type: none"> • 位置情報表示が 🔧 表示設定に移動しました。 • 📶 ボタン設定が 🔧 操作ボタン・ダイヤル設定に移動し、🔑 Fn1 ボタン設定に変更されました。 • 位置情報記録が 🔧 保存設定に移動しました。 • 名前とスマートフォン送信時 🔊 圧縮が Bluetooth/スマートフォン設定に移動しました。 	201、 210、 215、 216	16、 17、 24	5.00
19	スマートフォンとの無線での接続方法が変更されました。	254	31	5.00
20	ファンクションボタンに割り当て可能な機能が変更されました。	204、 228	18	3.00

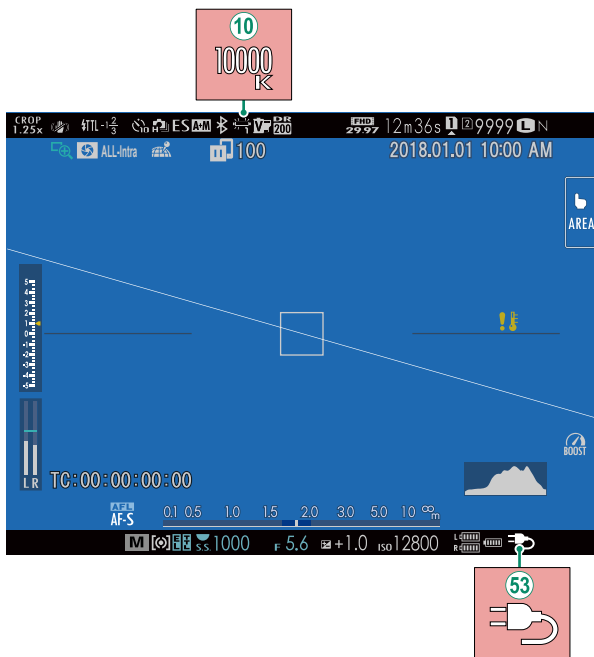
No.	概要	X-T3 📖	詳細 📖	Ver.
21	レンズファンクションボタンのある電動ズームレンズに対応しました。これにともない、セットアップメニューの 📌 操作ボタン・ダイヤル設定 > 電動ズームレンズファンクション (Fn) 設定 が追加されました。また、ファンクションボタンに割り当て可能な機能が変更されました。	204、 205、 228、 229、 249	18、 20、 28、 30	4.40
22	セットアップメニューの 📌 操作ボタン・ダイヤル設定 > レンズ ズーム / フォーカス設定 が追加され、レンズファンクションボタンのある電動ズームレンズの動作を設定できるようになりました。	209	21	4.40
23	フォーカスリングとフォーカスリング操作が 📌 操作ボタン・ダイヤル設定 > レンズ ズーム / フォーカス設定 に移動し、フォーカスリングはフォーカスリング回転方向に変更されました。	209	21	4.40
24	セットアップメニューの 📌 操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 の内容が変更されました。	211	23	3.00
25	セットアップメニューの 📌 接続設定 > Bluetooth 設定 に Bluetooth 機器一覧 が追加されました。	216	24	4.50
26	セットアップメニューの 📌 接続設定 > PC 接続モード が 接続モード に変更されました。	218	26	3.10
27	別売アクセサリーに三脚グリップ TG-BT1 が追加されました。	266	35	4.50

追加 / 変更内容

追加または変更になった内容は以下のとおりです。

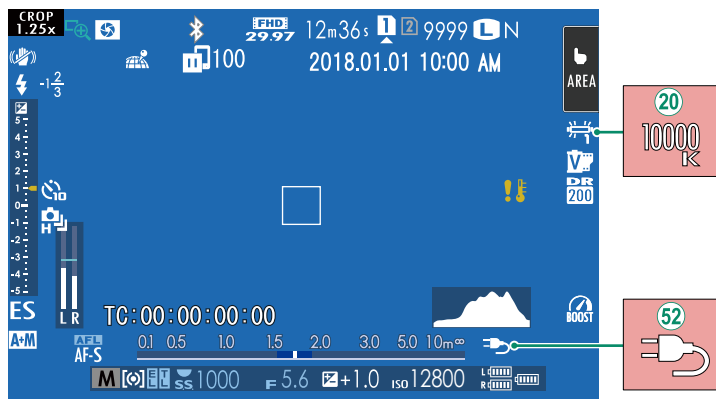
X-T3 使用説明書：📖 10
EVF の画面表示

Ver. 2.00



- ⑩ ホワイトバランスで色温度を設定した（X-T3 使用説明書：📖 108）ときは、画面に色温度の値も表示されます。
- ⑤③ 縦位置バッテリーグリップ VG-XT3 の AC パワーアダプター AC-9VS や USB ケーブルから給電しているときは、給電中のアイコンが表示されます。

LCD の画面表示

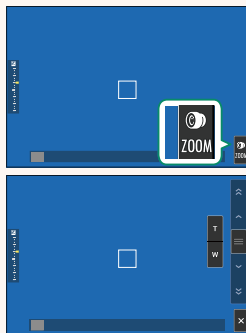




- ②⑩ ホワイトバランスで色温度を設定した（X-T3 使用説明書： 108）ときは、画面に色温度の値も表示されます。
- ⑤② 縦位置バッテリーグリップ VG-XT3 の AC パワーアダプター AC-9VS や USB ケーブルから給電しているときは、給電中のアイコンが表示されます。

タッチズーム

タッチズームに対応しているレンズを使用しているときは、画面をタッチしてズーム操作を行うことができます。撮影画面でタッチズームボタンをタッチすると、タッチズームがオンになります。

タッチズームはそれぞれのボタンで操作します。



ボタン	意味
 タッチズーム	タッチズームをオンにします。
T ボタン	タッチすると望遠側または広角側に操作できます。長押しすると、一定速度でズームできます。
W ボタン	
 シーソースイッチ	スワイプすると、ズーム位置を変更します。任意の位置を長押しすると、その位置に応じた速度で、望遠側または広角側にズームします。
X ボタン	タッチズームをオフにします。

動画の設定について



- 動画の記録中は背面のインジケータランプが点灯します。**動画設定 > タリーランプ**で、点灯するランプ（インジケータランプまたは AF 補助光ランプ）の切り替えや点灯または点滅の設定を変更できます。動画撮影中は ± 2 の範囲で露出補正が可能で、ズームリングがあるレンズを使用している場合は、ズームリングでズーム操作を行えます。
- 絞りモードスイッチの設定 (**A** または **A** 以外) は、動画撮影前に行ってください。絞りモードスイッチが **A** 以外のときは、動画撮影中もシャッタースピードや絞り値の設定を変更できます。
- 動画撮影中も以下の操作が行えます。
 - 感度の変更
 - **VIEW MODE** ボタンの操作で、アイセンサーの働きによる EVF と LCD の自動表示切り替え
 - 次の操作による AF のやり直し
 - シャッターボタンの半押し
 - ファンクションボタンに **AF-ON** が割り当てられているボタンの操作
 - タッチパネル操作
 - **ヒストグラム** や **電子水準器** を割り当てたファンクションボタンを押して、ヒストグラムや水準器を表示
- 撮影モードや撮影の設定によっては、動画撮影できない場合や設定が反映された動画が撮影されない場合があります。
- 動画を記録するメモリーカードは **保存設定 > スロット選択 (👤 順次記録時)** で変更できます。
- 動画撮影時にフォーカスエリアを変更するには、**動画設定 > フォーカスエリア選択** を選んでから、フォーカスレバーとリアコマンドダイヤルを操作します。
- フォーカスモードを **C (AF-C)** に設定して動画を撮影しているときは、シャッターボタンを半押し、または **AF-ON** が割り当てられているボタンを押すと、再度ピントを合わせることができます。

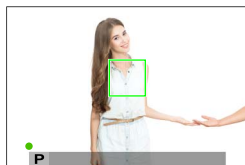
AE/AF ロック撮影

シャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが固定されます。

1 AE/AFロックしたい被写体にAFフレームを合わせます。

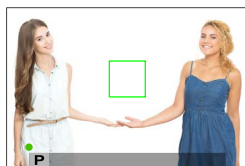
2 シャッターボタンを半押しします。

被写体に露出が合い、AF フレームが緑点灯します。



3 半押ししたまま構図を変えます。

被写体との距離は変えないでください。

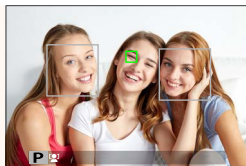


4 そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。

- 📖 シャッターボタンによる AE/AF ロック撮影を行う場合は、🔧 操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AF、半押し AE を ON にしておく必要があります。
- AE ロック中にフォーカスレバーでフォーカスポイントの位置を変更することができます。

顔検出 / 瞳 AF 設定

顔検出を使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。また、**瞳 AF** で、左右どちらの目にピントを合わせるかを選べます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。





設定	説明
顔検出 ON	<p>顔検出を使用します。さらに瞳 AF の動作を選べます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 瞳 AF OFF：顔検出のみ行い、瞳 AF は行いません。 ● 瞳 AF AUTO：顔を検出したときにカメラが自動的に左右のどちらかの目にピントを合わせます。 ● 瞳 AF 右目優先：顔を検出したときに右目にピントを合わせます。 ● 瞳 AF 左目優先：顔を検出したときに左目にピントを合わせます。
OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。



- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれで写ることがあります。
- 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。




- 顔を検出すると顔の上に緑色の枠が表示されます。カメラが複数の顔を検出した場合は、その他の顔の上にグレーの枠が表示されます。グレーの枠の顔をタッチして、ピントを合わせる顔を変更できます。ピントを合わせる顔を変更すると、 が白から緑色に変わります。
- **顔セレクト**  を割り当てたファンクションボタンを押すと、フォーカスレバーやEVF使用時のタッチパネル操作で変更することもできます (図 20)。
- フォーカスレバーの中央を押すと、ピントを合わせる位置を顔からフォーカスエリアに変更することができます。もう一度押すとピントを合わせる位置は顔に戻ります。
- ピントを合わせた顔が撮影画面から外れると、顔が撮影画面に戻ることを一定時間待つため、顔以外の場所に緑色の枠が残ることがあります。
- 連写中はピントを合わせる顔は変更できません。
- 撮影条件によっては連写後に選択した顔が解除されることがあります。
- 縦位置撮影時も顔を検出できます。
- メガネをかけた状態や髪の毛で目が隠れている状態など瞳を検出できない場合があります。瞳を検出できず目にピントを合わせるできない場合は、顔を検出して顔にピントを合わせます。
- この設定はショートカット機能でも設定できます。

レリーズ優先 / フォーカス優先

シャッターボタンを全押ししたときの動作を設定できます。フォーカスモードが **AF-S** のときと、**AF-C** のときのそれぞれを個別に設定できます。


設定	説明
レリーズ	ピントが合っていないにもかかわらずすぐに撮影できます。シャッタータイミングを優先したいときに設定します。
フォーカス	ピントが合うまで撮影できません。ピントを合わせてから撮影したいときに設定します。


 ファームウェアバージョンが 4.00 以降の場合は、**AF-S モード時の優先**の工場出荷時の設定が**フォーカス**になります。

フォーカスリミッター

ピントを合わせる距離を制限して、ピントを合わせるスピードを速くします。

設定	説明
OFF	フォーカスリミッターを使用しません。
カスタム	最短距離と最長距離を指定してピントを合わせる範囲を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 実行：設定した範囲で撮影します。 • 設定：2つの対象物を指定して、その間の範囲にピントを合わせるように設定します。
プリセット1 プリセット2	あらかじめ設定されている範囲でピントを合わせて撮影します。

- 
- ピントを合わせる範囲を、使用するレンズの最短撮影距離よりも手前に設定した場合、フォーカスリミッターは無効になります。
 - フォーカスリミッターで設定、表示される距離は、実際の距離と異なる場合があります。

-  **カスタム**設定時は次の操作もできます。
- タッチパネルで2つの対象物をタッチして指定することもできます。
 - 対象物を選ぶかわりにフォーカスリングを回して無限遠に合わせると、最長距離を無限遠に設定できます。

フリッカー低減

蛍光灯などの照明下で画面や画像に発生するちらつき（フリッカー現象）を低減します。





設定	説明
全コマ	全コマでフリッカー低減処理を行います。1 コマ目のみでフリッカー低減処理を行う場合に対し、連写速度が遅くなります。
1 コマ目のみ	1 コマ目のみでフリッカー低減処理を行い、2 枚目以降（連写時）はその処理を継続します。連写中にフリッカーが見えてきてしまうことがあります。
OFF	フリッカー低減を行いません。














- フリッカー低減を使用すると、撮影にかかる時間が長くなります。
- 電子シャッターでは、**フリッカー低減が OFF** になります。
- 動画撮影では、使用できません。

F-Log/HLG 撮影

F-Log 撮影および HLG (Hybrid Log-Gamma) による映像をどのように記録または HDMI 出力するかを設定します。

設定	説明
   	メモリーカードと外部レコーダーの両方にフィルムシミュレーション映像が記録・出力されます。
 F-Log  F-Log	メモリーカードと外部レコーダーの両方に F-Log で撮影された映像が記録・出力されます。
   F-Log	メモリーカードにはフィルムシミュレーション映像が記録され、外部レコーダーには F-Log で撮影された映像が出力されます。
 F-Log  	メモリーカードには F-Log で撮影された映像が記録され、外部レコーダーにはフィルムシミュレーション映像が出力されます。
 HLG  HLG	メモリーカードと外部レコーダーの両方に HLG で撮影された映像が記録・出力されます。

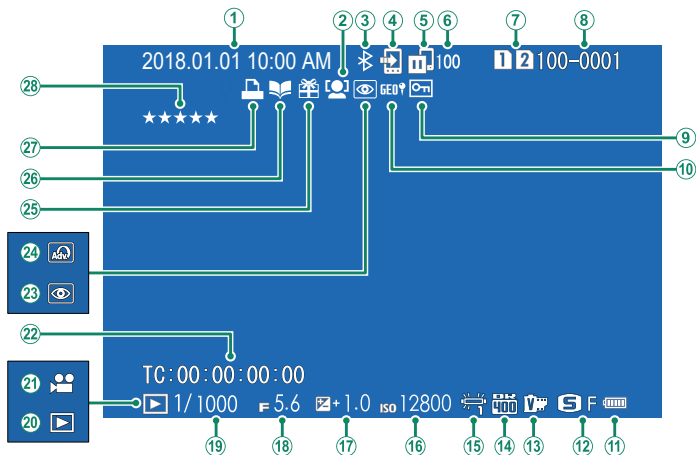


- **F-Log** は、撮影後の映像処理 (ポストプロダクション) を前提としたやわらかいガンマカーブで、広い色空間の映像になります。ISO 感度は ISO640 以上、ISO12800 以下になります。
- **HLG** (Hybrid Log-Gamma) は、国際標準規格 (ITU-R BT2100) に準拠した動画撮影方式のひとつです。HLG 方式で記録した映像を HLG 対応ディスプレイで再生することで、明暗差の大きいシーンや、彩度が高い被写体においてリアリティのある高品位な映像を表現できます。ISO 感度は ISO1000 以上、ISO12800 以下になります。撮影メニューの  **動画設定** > **H.265(HEVC)/H.264** で **H.265(HEVC)** を選んでいるときに撮影可能です。
- フィルムシミュレーションの映像 () は、撮影メニューの  **動画設定** >  **フィルム シミュレーション** で選んでいる設定になります。
-    **F-Log** または  **F-Log**   のときは、HDMI 出力とカメラ内 SD カード記録で、異なる画像サイズ (4K, Full HD) を選択することはできません。また、 **動画設定** の以下のメニューは使用できません。
 - 動画モードのフレームレート：**59.94P**、**50P**
 - **FULL HD** ハイスピード撮影
 - **4K** フレーム間ノイズリダクション
 - **HDMI 出力情報表示**

再生時の表示画面

再生時は、画面（EVF/LCD）に次の情報が表示されます。

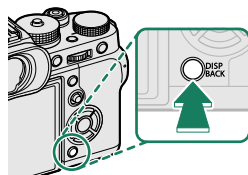
❗ 説明のため情報はすべて表示しています。



- | | |
|--------------------|-------------------|
| ① 日付・時刻 | ⑮ ホワイトバランス |
| ② 顔検出 | ⑯ ISO 感度 |
| ③ Bluetooth ON/OFF | ⑰ 露出補正 |
| ④ 画像転送予約 | ⑱ 絞り値 |
| ⑤ 画像転送状況 | ⑲ シャッタースピード |
| ⑥ 画像転送予約枚数 | ⑳ 再生モード |
| ⑦ カードスロット | ㉑ 動画アイコン |
| ⑧ コマ NO. | ㉒ タイムコード |
| ⑨ プロテクト | ㉓ 赤目補正 |
| ⑩ 位置情報 | ㉔ アドバンスドフィルター |
| ⑪ バッテリー残量表示 | ㉕ プレゼント |
| ⑫ 画像サイズ | ㉖ フォトブックアシスト |
| 画質モード | ㉗ プリント予約 |
| ⑬ フィルムシミュレーション | ㉘ レーティング 13 |
| ⑭ ダイナミックレンジ | |

情報表示の切り替え

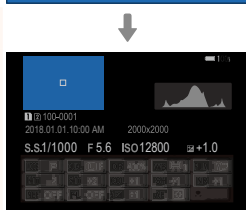
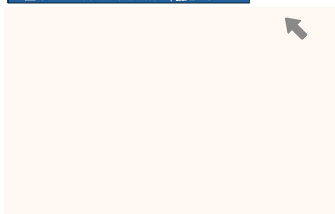
再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



スタンダード



情報表示なし



INFO 画面

お気に入りを設定する

お気に入りの設定は、再生メニューのレーティングで行います。

レーティング

撮影した画像に星の数でランクを付けることができます。

1 再生メニュー>レーティングを選びます。

2 フロントコマンドダイヤルでランク付けをしたい画像を選び、リアコマンドダイヤルで★の数（0～5）を設定します。



- フロントコマンドダイヤルの代わりにセレクターボタンで画像を選ぶこともできます。
- 1コマ再生画面や9コマ再生画面、マルチサムネイル画面のときに **AE-L** ボタンを押して、レーティングの画面に切り替えることもできます。
- タッチパネルで画像の拡大や縮小ができます。

画像コピー

- ❗ コピー先の空き容量がなくなると、その時点でコピーを終了します。
- ❗ 32GB 以下の SD メモリーカード (32GB を含む) の場合、ファイルサイズが 4GB を超えたファイルはコピーされず、コピーを終了します。

Mac OS X / macOS をお使いの方

Mac OS X / macOS をお使いの方は、OS 標準アプリケーションの「イメージキャプチャ」などのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。

- ❗ ファイルサイズが 4GB を超える場合は、カードリーダーでファイルを取り込んでください。

標準撮影枚数 / 記録時間

- ❗ 動画を連続して撮影した場合、32GB よりも大きい SD メモリーカード (32GB を含まず) 使用時は、ファイルサイズが 4GB を超える場合でも 1 つの動画ファイルとして記録されます。32GB 以下の SD メモリーカード (32GB を含む) 使用時は、ファイルサイズが 4GB を超える場合でも一時中断することなく動画撮影が可能です。動画ファイルは分割して記録されます。

🏠 エリア設定

お住まいの地域やサマータイムの設定をします。

■ エリア設定

世界地図からお住まいの地域を選択します。

■ サマータイム

サマータイムを使用するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	サマータイムを使用します。
OFF	サマータイムを使用しません。

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
🏠 ホーム	現在設定されている日時を表示します。
➔ 現地	旅行先の日時を表示します。

❗ ➔ 現地を選ぶときは、あらかじめ 🏠 エリア設定でお住まいの地域を設定してください。

■ 現地時間の設定方法

1 ➔ 現地を選び、MENU/OKボタンを押します。

2 セレクターボタンの左右を押して旅行先のエリアを選びます。

📍 サマータイムを使用したいときはサマータイムを ON に設定してください。

3 MENU/OKボタンを押します。

📍 ➔ 現地を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に ➔ と日時が約3秒間黄色で表示されます。

リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。

1 リセットするメニューを選びMENU/OKボタンを押します。

設定	説明
撮影メニューリセット	撮影メニューのカスタム登録 / 編集の内容、ホワイトバランスのカスタムの内容以外がリセットされます。
セットアップリセット	セットアップメニューの日時設定、🏠 エリア設定、世界時計、著作権情報以外がリセットされます。
初期化	ホワイトバランスのカスタムの内容以外の全ての設定がリセットされます。

2 確認画面で実行を選んでMENU/OKボタンを押します。

位置情報表示

ON にすると、スマートフォンから取得した位置情報を表示できます。

設定値	
ON	OFF

▶ Fn1 ボタン設定

再生モードで **Fn1** ボタンを押したときの動作を設定できます。

設定	説明
☐ スマートフォン 転送予約	表示している画像を転送予約します。スマートフォンとペアリングしていないときは Bluetooth/ スマートフォン設定 の画面が表示されます。
🎵 選択 & スマート フォン転送予約	画像選択画面を表示します。ペアリングしているスマートフォンに転送する画像を選んで転送予約できます。スマートフォンとペアリングしていないときは Bluetooth/ スマートフォン設定 の画面が表示されます。
📶 ワイヤレス通信	ワイヤレス通信を行います。

位置情報記録

ON にすると、スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録することができます。

設定値	
ON	OFF



ファンクション (Fn) 設定

ファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます。

1 セットアップメニューから **操作ボタン・ダイヤル設定** > **ファンクション (Fn) 設定** を選びます。

2 割り当てを変更するファンクションボタンを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

割り当て可能な機能は次のとおりです。

- ・ 画像サイズ
- ・ 画質モード
- ・ RAW
- ・ フィルムシミュレーション
- ・ グレイン・エフェクト
- ・ カラークローム・エフェクト
- ・ ダイナミックレンジ
- ・ D レンジ優先
- ・ ホワイトバランス
- ・ カスタム選択
- ・ フォーカスエリア選択
- ・ フォーカスチェック
- ・ AF モード
- ・ AF-C カスタム設定
- ・ 顔セレクト ※ 
- ・ 顔検出 ON/OFF
- ・ フォーカスリミッター
- ・ ドライブ設定
- ・ スポーツファインダーモード
- ・ プリ撮影 
- ・ セルフタイマー
- ・ シャッター方式
- ・ フリッカー低減
- ・ 感度 AUTO 設定
- ・ プレ防止モード
- ・ ワイヤレス通信
- ・ フラッシュ機能設定
- ・ TTL-LOCK
- ・ モデリング発光
- ・ FULL HD ハイスピード撮影
- ・ ゼブラ設定
- ・ 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- ・ 動画サイレント操作
- ・ 被写界深度確認
- ・ マニュアル時モニター露出 / AWB 反映
- ・ ナチュラルライブビュー
- ・ ヒストグラム
- ・ 電子水準器
- ・ 情報表示拡大モード
- ・ ズーム / フォーカスコントロールリング
- ・ 定速ズーム (T)
- ・ 定速ズーム (W)
- ・ **MF** 定速フォーカス (N)
- ・ **MF** 定速フォーカス (F)
- ・ AE LOCK のみ
- ・ AF LOCK のみ
- ・ AE/AF LOCK
- ・ AF-ON
- ・ AWB LOCK のみ
- ・ 絞り設定
- ・ パフォーマンス
- ・ 撮影後自動画像転送
- ・ ペアリング接続先選択
- ・ Bluetooth ON/OFF
- ・ 再生モード
- ・ なし



※ なし：ファンクションボタンの割り当てなし

3 割り当てる機能を選び、MENU/OKボタンを押します。



- 次の機能は **T-Fn1** ~ **4** (タッチファンクション) に割り当てることはできません。
 - 定速ズーム (T)
 - 定速ズーム (W)
 - **Mf** 定速フォーカス (N)
 - **Mf** 定速フォーカス (F)
 - AE LOCK のみ
 - AF LOCK のみ
 - AE/AF LOCK
 - AF-ON
 - AWB LOCK のみ
- セレクターボタンだけで、2つ以上の機能を同時に動作させることはできません。
- ファンクションボタンの割り当ては、**DISP/BACK** ボタンを長押ししても変更できません。

顔セレクト の割り当て

顔セレクト  を割り当てたボタンで、顔セレクト  のオンとオフを切り替えることができます。

オンにすると、**AF** フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定でピントを合わせる顔を、フォーカスレバーや EVF 使用時のタッチ操作で選択できます。



オンにすると、フォーカスレバー、EVF 使用時は以下の操作になります。

- フォーカスレバーを動かしてピントを合わせる人物の顔を選択できます。フォーカスレバーの中央を押すと、ピントを合わせる位置を顔ではなく、フォーカスエリアに変更することができます。もう一度押すとピントを合わせる位置は顔に戻ります。
- EVF 使用時はタッチパネル(液晶モニター)の操作やフォーカスレバーでピントを合わせる人物の顔を選択できます。

X-T3 使用説明書 : 205

Ver. 4.40

電動ズームレンズファンクション (Fn) 設定

ファンクションボタンがある電動ズームレンズを装着したときの、レンズのファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます。

レンズズーム / フォーカス設定

フォーカスリングがあるレンズや対応する電動ズームレンズを装着したときの動作を設定できます。

フォーカスリング回転方向

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）に遠距離側に合わせる場合の、フォーカスリングの回転方向を変更できます。

設定	説明
🕒 時計回り	フォーカスリングの回転方向を 🕒 時計回りに設定します。
🕒 反時計回り	フォーカスリングの回転方向を 🕒 反時計回りに設定します。

フォーカスリング操作

フォーカスリングの操作に応じたピント移動について設定できます。

設定	説明
ノンリニア	リング操作の回転速度に応じて、移動量可変でピントを移動します。
リニア	回転速度に応じず、回転量に対してリニアにピント移動します。

MF 定速フォーカス (Fn)

対応する電動ズームレンズ使用時に、ファンクションボタンでマニュアルフォーカス撮影をするときの、ピントの変化速度を設定できます。数値が大きいほど変化する速度は速くなります。

設定値							
1(遅)	2	3	4	5	6	7	8(速)

定速ズーム (Fn)

対応する電動ズームレンズ使用時に、ファンクションボタンでズーム操作をするときの動作速度を設定できます。数値が大きいほど速くなります。

設定値								
1(遅)	2	⋮	3	4	5	6	7	8(速)

定速ズーム / フォーカス操作 (Fn)

対応する電動ズームレンズ使用時に、ファンクションボタンで定速フォーカスや定速ズーム操作をするときの動作を設定できます。

設定	説明
スタート/ストップ	ファンクションボタンを押すとフォーカスやズームを行い、もう一度押すと止まります。
押下中のみ	ファンクションボタンを押している間、フォーカスやズームを行います。

ズームリング回転方向

対応する電動ズームレンズのズームリングを操作するときの、ズームリングの回転方向を変更できます。

設定	説明
🕒 時計回り	ズームリングの回転方向を 🕒 時計回りに設定します。
🕒 反時計回り	ズームリングの回転方向を 🕒 反時計回りに設定します。

ズーム / フォーカスコントロールリング

対応する電動ズームレンズのズーム / フォーカスコントロールリングの用途を設定できます。

設定値	
ズーム	フォーカス




タッチパネル設定

液晶画面（LCD）のタッチ操作を行うかどうかを設定できます。

サブメニュー	説明
📷 タッチパネル設定	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：撮影時に液晶画面（LCD）をタッチパネルとして使用します。 ● OFF：タッチパネルとして使用しません。
📷 ダブルタップ拡大	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：撮影時に液晶画面（LCD）を2回タッチすると、画像が拡大します。 ● OFF：タッチによる画像拡大はしません。
Fn タッチ ファンクション	タッチファンクションを使用するかどうかを設定します。
タッチズーム	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：撮影時に液晶モニター（LCD）をタッチして、対応する電動ズームレンズのズーム操作を行います。 ● OFF：タッチズームを使用しません。
▶ タッチパネル設定	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：再生時に液晶画面（LCD）をタッチパネルとして使用します。 ● OFF：タッチパネルとして使用しません。
EVF タッチパネル 有効範囲	<p>EVF 使用時に液晶画面（LCD）をタッチパネルとして使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● タッチパネルの有効範囲を次の中から選びます。 <ul style="list-style-type: none"> - <input type="checkbox"/> (全面で動作) - <input type="checkbox"/> (左半分で動作) - <input type="checkbox"/> (右半分で動作) - <input type="checkbox"/> (左上 1/4 側で動作) - <input type="checkbox"/> (右上 1/4 側で動作) - <input type="checkbox"/> (左下 1/4 側で動作) - <input type="checkbox"/> (右下 1/4 側で動作) ● OFF を選ぶと、タッチパネルとして使用しません。

Bluetooth/ スマートフォン設定

Bluetooth 接続に関する設定を行います。

サブメニュー	内容
ペアリング登録	スマートフォンにインストールされている「FUJIFILM Camera Remote」の ペアリング登録 を押すと、ペアリングを開始します。
ペアリング 接続先選択	ペアリング登録 で登録したスマートフォンの中から接続するスマートフォンを選びます。 接続なし を選ぶとスマートフォンとのペアリングは行いません。
ペアリング削除	ペアリング登録されているスマートフォンの情報を削除できます。削除するスマートフォンを選んでください。削除されたスマートフォンは ペアリング接続先選択 のリストからも削除されます。
Bluetooth 機器一覧	ペアリング登録されている機器のうち、スマートフォン以外の機器の一覧を確認したり、ペアリングを削除したりできます。
Bluetooth ON/OFF	<ul style="list-style-type: none"> • ON：カメラの電源をオンにすると、常にペアリング登録されているスマートフォンと Bluetooth 接続します。 • OFF：Bluetooth 接続しません。
撮影時 自動画像 転送	撮影したときに画像を自動的に転送予約するかどうかを設定できます。
スマートフォン位 置情報同期	ペアリング登録されているスマートフォンと位置情報を同期するかどうかを設定できます。
名前	無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を変更できます。工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。
電源 OFF 中の画 像転送	カメラの電源をオフにしたときも、撮影した画像をペアリングされているスマートフォンに転送するかどうかを設定できます。
スマートフォン送 信時  圧縮	スマートフォン送信時の画像サイズを変更できます。 スマートフォン送信時  圧縮 を ON にして画像を送信しても、メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズが変更されることはありません。 <ul style="list-style-type: none"> • ON：画像サイズを  に圧縮して送信します。 • OFF：元画像のサイズのままで送信します。




- スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーションをインストールしておく必要があります。ご使用いただくアプリケーションはご使用中のスマートフォンのOSにより異なりますので、以下のウェブサイトをご覧ください。
<https://app.fujifilm-dsc.com/>
- **Bluetooth ON/OFF** が **ON** で **撮影時 自動画像転送** が **ON** の場合や、再生メニューの **画像転送予約** を設定している場合は、撮影時や再生時、カメラの電源がオフのときに画像を転送します。
- カメラとスマートフォンがペアリングされている状態でスマートフォンアプリケーションを起動しておく、カメラの日付はスマートフォンと自動的に同期されます。

接続モード

外部機器とカメラを接続して使用する機能を設定します。

設定	説明
USB カードリーダー	USB ケーブルでパソコンとカメラを接続すると、自動的にメモリーカードのデータをパソコンに転送するモードになります。接続していないときは通常のカメラとして動作します。
USB テザー撮影 自動	<p>USB ケーブルでパソコン、ジンバル、ドローンなどを接続すると、外部機器からカメラの制御が可能になります。接続した外部機器の電源を入れると、カメラは自動的にテザー撮影状態（外部機器による制御を受け付ける状態）になります。外部機器と接続していないときや外部機器の電源がオフのときは、通常通りにカメラを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Capture One」、「Adobe® Photoshop® Lightroom® + Tether Plugin」、「FUJIFILM X Acquire」がインストールされているパソコンと接続すると、撮影した静止画をパソコンへ自動転送したり、パソコンから静止画の撮影を制御したりできます。「FUJIFILM X Acquire」では、カメラ設定の保存や読み込みも可能です。 対応したジンバル・ドローンなどを接続すると、ジンバル・ドローン側からカメラの制御が可能になります。制御は静止画撮影と動画撮影の両方行えます。静止画撮影、動画撮影の切り替えはカメラのモードダイヤルで設定します。使用できる機能は接続先のジンバル・ドローンの仕様によって異なります。
USB テザー撮影 固定	<p>USB テザー撮影 自動と使用できる機能は同じです。ただし、外部機器を接続していないときや外部機器の電源がオフのときも、テザー撮影状態（外部機器による制御を受け付ける状態）になります。USB ケーブルが抜けるなどの異常が発生した場合も、再度 USB ケーブルを接続すると、外部機器からの制御を継続できます。工場出荷時の設定では、撮影した静止画はメモリーカードに記録されませんのでご注意ください。</p>
ワイヤレス テザー撮影 固定	<p>ワイヤレス接続でテザー撮影モードになります。</p> <p>☑ 接続設定 > ネットワーク設定でアクセスポイントを設定してください。</p>

設定	説明
USB RAW 現像 / 設定保存読込	<p>USB ケーブルでパソコンとカメラを接続すると、自動的に「USB RAW 現像」「設定保存読込」が可能になります。接続していないときは通常のカメラとして動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • USB RAW 現像：(使用ソフトウェア：FUJIFILM X RAW STUDIO) カメラに搭載している画像処理エンジンで、高速、高品質に RAW 現像を行います。 • 設定保存読込：(使用ソフトウェア：FUJIFILM X Acquire) カメラの設定の保存、読込ができます。カメラの設定全体を瞬時に切り替えたり、複数の同一機種カメラ間で設定を共有したりするときに便利です。接続していないときは通常のカメラとして動作します。

 **消費電力設定 > 自動電源 OFF** の設定は、テザー撮影中（外部機器を接続した撮影中）も有効になります。テザー撮影中にオートパワーオフをさせたくない場合は、**自動電源 OFF** を **OFF** に設定してください。

 パソコンのソフトウェアの詳細やダウンロードは以下をご覧ください。


- **Capture One Express Fujifilm**：
<https://www.captureone.com/ja/products-plans/capture-one-express/fujifilm>
- **Capture One Pro Fujifilm**：
<https://www.captureone.com/ja/explore-features/fujifilm>
- **Adobe® Photoshop® Lightroom® + Tether Plugin**：
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/products/software/adobe-photoshop-lightroom-tether-plugin/>
- **FUJIFILM X Acquire**：
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/products/software/x-acquire>
- **FUJIFILM X RAW STUDIO**：
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/products/software/x-raw-studio/>
- **RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPIX**：
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/software/raw-file-converter-ex-powered-by-silkypix/>

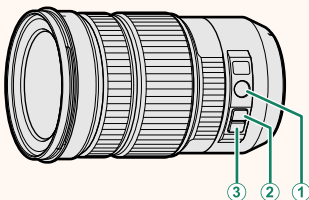
レンズファンクションボタン

レンズファンクションボタンのある電動ズームレンズを使用する場合、ファンクションボタンに別の機能を割り当てることができます。

レンズファンクションボタンの工場出荷時設定

工場出荷時に割り当てられている機能とボタンの位置は次のとおりです。





 ここでは、XF18-120mmF4 LM PZ WR を例に説明しています。



レンズファンクションボタン	割り当てられている機能
① Z/F	ズーム / フォーカスコントロールリング
② L-Fn1 (ズームボタン上)	定速ズーム (T)
③ L-Fn2 (ズームボタン下)	定速ズーム (W)

レンズファンクションボタンの割り当て変更

レンズファンクションボタンの割り当ては、**操作ボタン・ダイヤル設定 > 電動ズームレンズファンクション (Fn) 設定** で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルムシミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- D レンジ優先
- ホワイトバランス
- カスタム選択
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔セレクト ※ 
- 顔検出 ON/OFF
- フォーカスリミッター
- ドライブ設定
- スポーツファインダーモード
- プリ撮影 
- セルフタイマー
- シャッター方式
- フリッカー低減
- 感度 AUTO 設定
- プレ防止モード
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- FULL HD ハイスピード撮影
- ゼブラ設定
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 動画サイレント操作
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器
- 情報表示拡大モード
- ズーム / フォーカスコントロールリング
- 定速ズーム (T)
- 定速ズーム (W)
-  定速フォーカス (N)
-  定速フォーカス (F)
- AE LOCK のみ
- AF LOCK のみ
- AE/AF LOCK
- AF-ON
- AWB LOCK のみ
- 絞り設定
- パフォーマンス
- 撮影後自動画像転送
- ペアリング接続先選択
- Bluetooth ON/OFF
- 再生モード
- なし



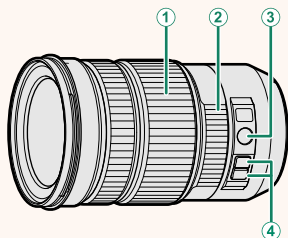
- なしを選ぶと、レンズファンクションボタンの割り当てはなくなります。
- 定速ズーム (T) または、定速ズーム (W) を割り当てているときは、機能別ロック設定が無効になります。

電動ズームレンズについて

電動ズームレンズを使用しているときは、ズーム/フォーカスコントロールリング、ズームボタン、ズームリングでズーム操作が行えます。

濡れた状態でズーム操作を行うと、内部に水が入りやすくなるので、水分を拭き取ってから操作してください。

ここでは、XF18-120mmF4 LM PZ WR を例に説明しています。



名称	説明
① ズームリング	ズームリングを回してマニュアルでズーム操作が行えます。
② ズーム/フォーカスコントロールリング	ズーム/フォーカスコントロールリングを回している間、電動ズームします。回す量によってズームの速度が変わります。
Z/F ボタン	
③ (ズーム/フォーカス切り換えボタン)	ズーム/フォーカスコントロールリングの機能をズームまたはフォーカスで切り替えることができます。
④ ズームボタン	ズームボタンを押すと一定速度で電動ズームします。もう一度押すとズームを終了します。

- **操作ボタン・ダイヤル設定 > 電動ズームレンズファンクション (Fn) 設定**で、Z/F ボタンやズームボタンに別の機能を割り当てることもできます。
- **操作ボタン・ダイヤル設定 > レンズズーム/フォーカス設定**で、ズームボタンのズーム速度を変更できます。

無線通信で接続

カメラとスマートフォンやパソコンを無線で通信できます。無線通信の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>


スマートフォンと通信する

スマートフォンにアプリケーションをインストールする

カメラとスマートフォンを接続するためには、あらかじめ専用のアプリケーションをスマートフォンにインストールする必要があります。以下のウェブサイトをご覧ください。スマートフォンにアプリケーションをインストールしてください。

<https://app.fujifilm-dsc.com/>

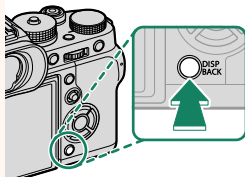



 使用できるアプリケーションはスマートフォンのOSによって異なります。

カメラとスマートフォンを接続する

カメラとスマートフォンをペアリングして、Bluetooth®で接続します。

- 1 撮影画面でDISP/BACKボタンを長押しします。

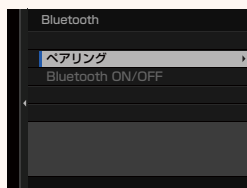


 再生画面で長押ししたときは、手順3に進みます。

2 Bluetoothを選び、MENU/OKボタンを押します。



3 ペアリングを選び、MENU/OKボタンを押します。

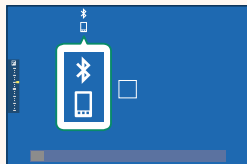


4 スマートフォンのアプリケーションを起動し、カメラとペアリングします。

詳しい手順は以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://app.fujifilm-dsc.com/>


ペアリングをすると、自動的にカメラとスマートフォンが Bluetooth で接続されます。カメラとスマートフォンが接続されると、カメラの表示画面にスマートフォンアイコンと白い Bluetooth アイコンが表示されます。



- 一度ペアリングを行うと、スマートフォンアプリケーションを起動するたびに自動的にカメラと接続します。
- スマートフォンと接続しないときは Bluetooth をオフにするとカメラの消費電力を抑えることができます。


スマートフォンアプリケーションを使用する

スマートフォンアプリケーションを使用して、次のようにスマートフォンに画像を転送できます。

 あらかじめ **Bluetooth/ スマートフォン設定 > Bluetooth ON/OFF** を **ON** にしてください。


スマートフォンアプリケーションで選んで画像を転送する



スマートフォンアプリケーションで転送する画像を選んで、スマートフォンに画像を転送することができます。

 スマートフォンアプリケーションの詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://app.fujifilm-dsc.com/>

撮影した画像を自動的に転送する

 **接続設定の Bluetooth/ スマートフォン設定 > 撮影時 自動画像転送** を **ON** にすると、撮影した画像がペアリングしているスマートフォンに自動的に転送予約されます。

-  **接続設定の Bluetooth/ スマートフォン設定 > Bluetooth ON/OFF** が **ON** で、**電源 OFF 中の画像転送** が **ON** のときは、カメラの電源がオフのときでも画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。
-  **接続設定の Bluetooth/ スマートフォン設定 > スマートフォン送信時** **3M 圧縮** を **ON** にすると、転送する画像のサイズを圧縮して転送します。

再生メニューから画像を選んで転送する

画像転送予約 > コマ選択 で、選んだ画像を Bluetooth® でペアリングしているスマートフォンに転送できます。

パソコンに画像を保存する (FUJIFILM PC AutoSave)

カメラとパソコンは、無線 LAN (Wi-Fi) で接続できます。カメラとパソコンを接続するためにあらかじめパソコンへ専用のアプリケーションをインストールしてください。

FUJIFILM PC AutoSave

無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存するには、保存先のパソコンにあらかじめ最新の PC アプリケーション「FUJIFILM PC AutoSave」をインストールして保存先を設定しておく必要があります。「FUJIFILM PC AutoSave」については以下のサイトをご覧ください。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/pc_autosave/

パソコンに画像を保存

再生メニュー > PC 保存で、無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。



カメラで使える別売アクセサリ

このカメラでは、以下の富士フィルム製別売アクセサリを使用できます。最新情報については、以下をご覧ください。

<http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html>

充電式バッテリー NP-W126/NP-W126S：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。

バッテリーチャージャー BC-W126/BC-W126S：充電式バッテリー NP-W126/NP-W126S を充電します。充電時間は約 150 分（+20℃において）です（AC100V～240V、50/60Hz 対応）。

DC カプラー CP-W126：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時に縦位置バッテリーグリップに付属している AC パワーアダプター AC-9VS と併用してお使いください。

リモートリリース RR-100：三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください（φ 2.5mm 端子）。

ステレオマイク MIC-ST1：動画撮影時の外部マイクとしてお使いください。

XF シリーズレンズ/XC シリーズレンズ：FUJIFILM X マウント専用の交換レンズです。

シネマレンズ FUJINON MKX シリーズレンズ：FUJIFILM X マウント専用のシネマレンズです。

マクロエクステンションチューブ MCEX-11/16：カメラボディと交換レンズの間に装着することで、高い撮影倍率でマクロ撮影が可能となります。

テレコンバーター XF1.4X TC WR：対応するレンズの焦点距離を約 1.4 倍にするテレコンバーターです。

テレコンバーター XF2X TC WR：対応するレンズの焦点距離を約 2.0 倍にするテレコンバーターです。

M マウントアダプター：豊富なバリエーションを持つ M マウントレンズをカメラボディに装着するためのマウントアダプターです。

ボディキャップ BCP-001：カメラのレンズ取り付け部の蓋です。

アイカップ EC-XH W/EC-XT L/EC-XT M/EC-XT S/EC-GFX：ファインダー接眼部に装着するアイカップです。

クリップオンフラッシュ EF-X500：ガイドナンバー最大 50 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。同調速度を超えた高速シャッターに追従する FP (ハイスピードシンクロ) 発光に対応しています。また、富士フィルム光通信多灯システムのコマンダーフラッシュ、リモートフラッシュとしても使用できます。別売外部電源 EF-BP1 にも対応しています。

バッテリーパック EF-BP1：クリップオンフラッシュ用の外部バッテリーパックです。単 3 電池 8 本を搭載可能です。

外付けフラッシュ EF-X8：カメラ本体から電力を供給する、コンパクトなクリップオンタイプのフラッシュです。最大ガイドナンバーは約 8 (ISO100・m)、照射角度は 16mm (35mm 判換算で 24mm 相当) です。

クリップオンフラッシュ EF-42：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 42 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

クリップオンフラッシュ EF-X20：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

クリップオンフラッシュ EF-20：TTL 自動調光機能のみに対応した、最大ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

縦位置バッテリーグリップ VG-XT3

三脚グリップ TG-BT1：Bluetooth に対応し、グリップを握ったまま、動画・静止画の撮影やズーム操作ができる三脚グリップです。


ハンドグリップ MHG-XT3：カメラのホールディング性を高めます。カメラに装着したままバッテリー / メモリーカードの出し入れが可能です。クイックシュー式の雲台に対応するアリガタレール形状をしています。

レザーケース BLC-XT3：本革製ケースです。カメラに装着したままの撮影や、バッテリーの出し入れが可能です。バッグに収納する際などにカメラを包むことができるラッピングクロスを同梱しています。

グリップベルト GB-001：本体に装着することでホールド感を高めます。ハンドグリップと組み合わせてお使いいただくことにより、さらに安定性が向上いたします。

カバーキット CVR-XT3：X-T3 用カバーキットです。シンクロターミナルカバー、ホットシューカバー、縦位置バッテリーグリップ用端子カバー (ブラックとシルバー)、端子カバーが入っています。

instax SHARE プリンター SP-1/SP-2/SP-3：撮影した画像を無線 LAN で送信し、簡単にチェキフィルムにプリントできるプリンターです。

 このカメラでは、AC パワーアダプター AC-9V は使用できません。

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

<https://fujifilm-x.com/>

